

被災自治体への技術支援 ～災害緊急調査～【山形県 (R6.8.6～7)】

- 被災自治体からの要請を受け、国土交通省の災害査定官が速やかに被災箇所に赴き、災害復旧の迅速化に向けた復旧方針・工法等の技術的支援・助言(災害緊急調査)を実施
- 山形県では、計14箇所(県管理施設6箇所、酒田市管理施設8箇所)の災害緊急調査を実施



国道344号(酒田市)
被災状況



緊急調査状況(国道344号 石田橋)
【助言】
・橋梁に添架されている水道管の被災も確認すること。
・次期出水時に被害が発生しないよう、河川の埋塞土砂の撤去を検討すること。



緊急調査状況(市道前山線 前山橋)
【助言】
・橋台背面が侵食されている状態となっているため、橋台を中心に変状、変形を計測するとともに、点検をし、健全性を確認すること。



二級河川日向川水系 荒瀬川



緊急調査状況(荒瀬川)

- 【助言】
- ・床固め工については、基礎底面の地盤が流出していれば、死に体と判断できるため、適切に調査を行うこと。
 - ・橋梁部に流木が堆積し、河積阻害が甚だしい箇所が点在しているため、早急に流木の撤去を検討すること。



緊急調査状況(市道六助草田線六助橋)

- 【助言】
- ・出水により橋台裏が流出し、周辺護岸も一連で被災。
 - ・橋自体に被災がない場合、応急工事ではなく流出した橋台裏の埋め戻しをしたほうが早期に復旧が可能かと思われるため、橋自体の健全性を検討して判断すること。